

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	C-7-6
事業名	(仮称) 女川町水産振興センター整備事業 (水産加工開放実験室)
事業費	総額 45,778 千円 (うち国費 34,333 千円) (内訳: 工事費 45,778 千円)
事業期間	平成 27 年度～平成 29 年度
事業目的	<p>基幹産業である水産加工・流通業の拠点となる水産加工団地の整備計画に基づき、震災前には機関毎に点在していた「宮城県漁業協同組合女川町支所事務所」、「女川水産加工業協同組合の水産加工開放実験室」、「女川町水産物流通センター」等の水産関連施設を女川町地方卸売市場管理棟上階 (3・4 階) に集約し、(仮称) 女川町水産振興センターとして復旧整備することにより、水産関連施設の早期復旧と水産関係者 (利用者) の利便性の向上を図ることとしている。</p> <p>本事業では、水産加工業者が水産加工品の品質・衛生管理の強化を図るための試験研究、新製品の開発、検査・分析を行う水産加工開放実験室を同センター内に整備するものである。</p>
事業地区	宮ヶ崎地区
事業結果	<p>女川町地方卸売市場施設内 4 階において水産加工開放実験室を整備した。 延べ床面積 111 m<sup>2</sup>、調理台 3 台 ※整備写真等は別添のとおり</p>
事業の実績に関する評価	<p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 利用実績 令和 4 年度 12 回 73 人 震災前は複数箇所に点在していた当該目的施設を女川町地方卸売市場管理棟に集約し整備した。上記のとおりの水産関係者等の利用実績があり、目的に即した利用により水産関係者等 (利用者) の利便性の向上を図ることができた。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価 当施設を含む女川町地方卸売市場の施工業者選定にあたってはプロポーザルを実施した。 業者からのプレゼンを踏まえ、コスト、事業実施内容を選定委員会等で十分に協議の上、業者を選定したため妥当と思われる。</p> <p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価 当事業は CM 方式の採用により、発注者となる町の体制、専門性の質的、量的補完を測ることができ、かつ、費用についても専門的知見から無駄を省きコストダウンに繋がった。また、女川町地方卸売市場整備の進捗状況により、当事業の完了にも遅れが生じたものの、当該事業手法は適切であると考えられる。</p> <p>&lt;想定した事業期間&gt; 平成 27 年 9 月～平成 28 年 5 月 &lt;実際に事業に要した事業期間&gt; 平成 27 年 9 月～平成 29 年 4 月</p>

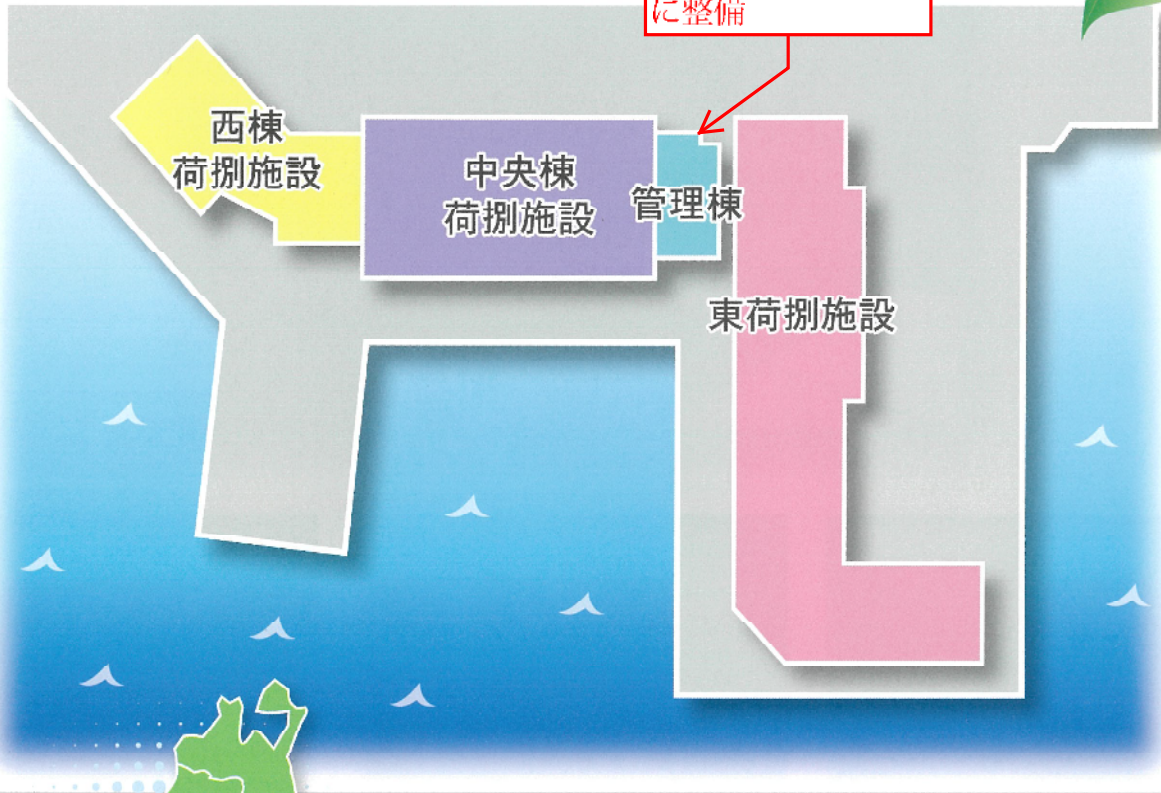
事業担当部局

産業振興課 電話番号：0225-54-3131



市場全体図

市場管理棟内4階に整備



### ● 施設概要

- 名称 / 女川町地方卸売市場
- 住所 / 宮城県牡鹿郡女川町  
宮ヶ崎字宮ヶ崎87番地内
- 敷地面積 / 36,396.83㎡  
(32,209.43㎡ 仮設荷捌場敷地除く)



復興イメージ図

# 管理棟



サニタリー室



大研修室



開放実験室



貸事務所



買受人控室



食堂

## ●施設概要

○施設の名称／女川町地方卸売市場管理棟

○竣工年月日／平成28年6月

○床面積／3,280.08㎡

○建築構造／鉄骨造地上4階

○主な設備等／1F 市場管理事務所、買受人控室、従業員控室・食堂、魚市場宿直室、室内冷蔵庫、男女更衣室、男女トイレ、サニタリー室

2F (株)女川魚市場事務所、船員休憩室、大研修室、倉庫、男女トイレ

3F 宮城県漁業協同組合女川町支所事務室、食堂、貸事務所（8）男女トイレ

4F **開放実験室**、中研修室、貸事務所（9）、サーバー室、電気室、給湯室、テラス、男女トイレ